

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年6月10日（水）

2 確認箇所

K排水路

3 確認項目

K排水路におけるP S Fモニタ・ゲート等の運用状況

4 確認結果の概要

昨日（6月9日）のA排水路及び物揚場排水路に設置されているプラスチック・シンチレーション・ファイバ（以下「P S F」という。）モニタ等の確認に引き続き、本日（6月10日）は、K排水路に設置されているP S Fモニタ等の状況を確認した。（図1）

なお、1号機から4号機周辺の雨水を集水するK排水路では、降雨時に事故時のフォールアウト（放射性降下物）の流入の影響を受け放射能濃度が高くなることから、汚染水の漏えいをよりの確に検知するため、A排水路や物揚場排水路に設置されているβ線+γ線を検出する方式のP S Fモニタに代わり、β線+γ線とγ線をそれぞれ検出し、それらの差からβ線の検出が可能な方式のP S Fモニタが設置され、本年1月末から運用されている。

- ・ K排水路のP S Fモニタは、地上に設置されているA排水路や物揚場排水路とは異なり、暗渠になっているK排水路の流路に直接設置されていた。

（写真1、写真2）

- ・ ゲートは全開状態であり、付近には開閉操作の支障となる物品等は置かれていなかった。（写真3）

- ・ 排水路には、ゲートを閉止した場合に排水を汲み上げるための可搬型ポンプが2台設置されており、外観上、劣化等の異常は見られなかった。

（写真4）

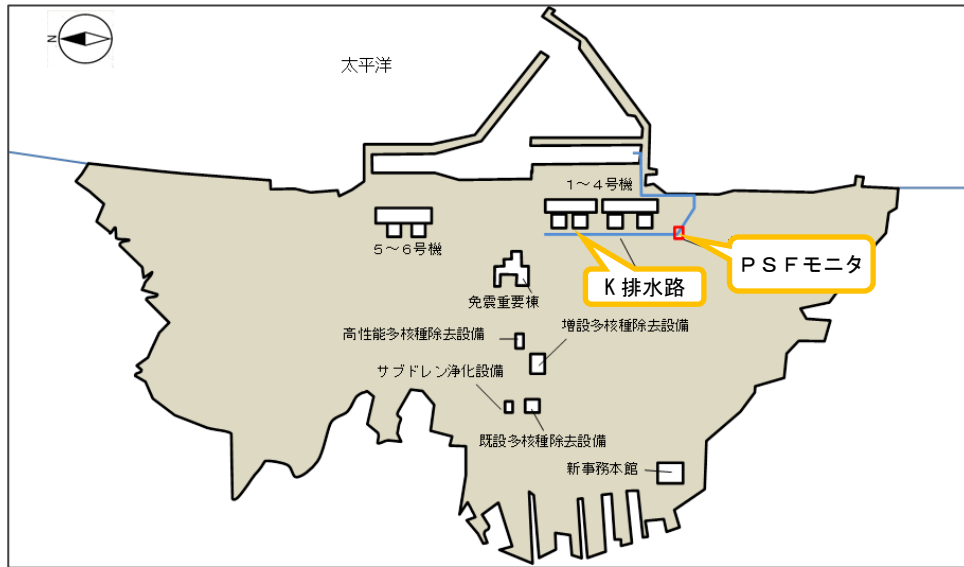
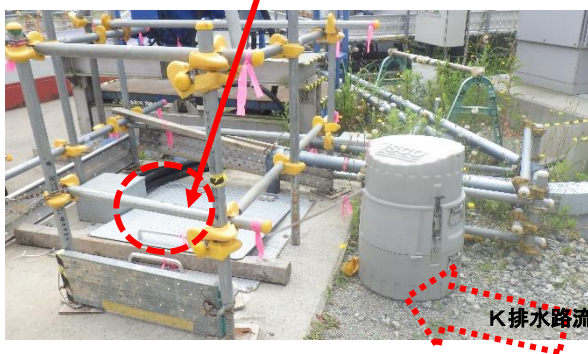


図1 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
K排水路PSFモニタ等設置箇所
(北側から撮影)



(写真2)
K排水路PSFモニタ設置箇所



(写真3)
K排水路ゲートの状況
(東側から撮影)



(写真4)
K排水路の中に設置された汲み上げポンプと耐圧ホースの状況
(北西側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。